

平成 30 年度第 4 回図書館協議会議事録

1 開催日時 平成 31 年 3 月 16 日（土）午前 10 時～12 時

2 開催場所 浦安市集合事務所 3 階社会教育関係団体連携室

3 出席者

（委員）押樋委員長 小出副委員長 越村委員 豊永委員 立松委員 西村委員
須賀委員 伊勢田委員 高橋委員

（事務局）教育長 生涯学習部長 生涯学習部次長

（生涯学習課）

課長 こども図書館準備室長 こども図書館準備室副主幹

（中央図書館）

館長 副館長 総務係長 レファレンスサービス係長 総務係主査

4 傍聴人 1 人

5 議題

（1）報告事項

- ① 中央図書館大規模改修事業について
- ② 予算委員会について
- ③ 平成 29 年度図書館自己点検評価について
- ④ （仮称）浦安市こども図書館基本構想（原案）について
- ⑤ 第 2 次浦安市生涯学習推進計画（骨子案）について

6 議事の概要

（1）報告事項

- ① 中央図書館大規模改修事業について、事務局より報告を行った。
- ② 予算委員会について、事務局より報告を行った。
- ③ 平成 29 年度図書館自己点検評価について、事務局より報告を行った。
- ④ （仮称）浦安市こども図書館基本構想（原案）について、事務局より報告を行った。
- ⑤ 第 2 次浦安市生涯学習推進計画（骨子案）について、事務局より報告を行った。

7 会議経過

（1）報告事項

- ① 中央図書館大規模改修事業について、事務局より報告を行った。

その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

（質問）分館ごとの規模や比較など、載っているものはあるのか。

（回答）図書館概要に掲載している。ホームページからも見られる。

（意見）市民が分館を利用するガイドになるよう、簡易なリーフレットなどあるといいのではないか。

（意見）相互貸借がかなり大きな数字になっている。相当な業務量なのではないか。図書館が休館していると、何もしていないように外からは見えてしまうが、これだけの業務を行っていることはPRした方がよい。

（意見）相互貸借する資料の分析は、蔵書の分析にもなるのではないか。これだけ充実した資料群で、相互貸借しなければならない資料はどんな資料であるのか、蔵書を見直しした方がよいのではないか。

（意見）浦安の図書館は利用している人の幅が広いので、要求も高く幅広いのが特徴である。そもそも1つの館で蔵書をカバーすることは無理であり、良い図書館ほど相互貸借が多くなるという傾向もある。

（意見）個人的に中央図書館を毎日利用していたが、少し寂しいというのが本音である。中央図書館の蔵書が倉庫に預けられているが、全体のどの程度が入っているのかわからない、検索してもヒットしないのであきらめてしまう。

（回答）外部に預けてあるのは60万冊程度である。分館には、中央図書館の蔵書3万冊程度を移設している。かなりの割合の蔵書を預けてしまっているため、ご不便をおかけしている。

（意見）インターネットで検索して出てこないものは、分館にリクエストカードを出すと、すぐに調べて、他の図書館から借りてくれる。あきらめずに利用すべきだと考える。

（意見）図書データベースには、その本が本当に必要かどうかの手掛かりになる情報も掲載されている。それらは開示してもよいのではないかとと思う。

（回答）予約の処理が追いつかないという懸念があったため、こうした運用にしている。今後ともPRには努めていきたいと思う。

（意見）これを機に、通勤・通学先の図書館を使うということもPRしてはどうか。

② 予算委員会について、事務局より報告を行った。

その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

（意見）図書購入費が減少しているのは、大規模改修の影響か。

（回答）大規模改修事業が始まった時期から、大量の本を保管する必要が生

じたため、蔵書をスリム化する目的で、図書購入費を抑制している。工事完了後には、元の水準に戻すよう調整していきたいと考えている。

(意見) 市民に対しても、図書購入費の重要性はアピールしてほしい。

③ 平成 29 年度図書館自己点検評価について、事務局より報告を行った。

その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

(意見) 図書館に限らず、P D C A のサイクルを回す時に、今の時期にやるべきなのは、本来は平成 30 年度の評価であり、それを踏まえて 31 年度に臨むべきである。行政はどうしても 1 年遅れにならざるを得ない。これをなんとか業務改善に活かす工夫はないものか。ここをなんとかしないと、業務改善は難しいと思う。

(意見) 分館の P R について、最近ツイッターで展示等がよく紹介されている。情報も多く、頑張っている様子がよくわかる。見るのがとても楽しみである。

(意見) P D C A のサイクルについてであるが、単年度予算なので、それでまわすのが基本であるが、活動自体には継続性がある。民間などでも各社工夫をして、単年度の評価の他に、中長期的なスパンでの評価を行っているところもある。例えば職員の育成など、単年度で評価は出しにくい。3 年くらいで段階的にしてもよい。改善の方向性についても、単年度で行うものと、中長期で行うものを分けてもよいのではないか。

(意見) テーマが単年度としては大きすぎるので、もう少し分野を区切るなど小刻みにするのも一つの方法かもしれない。

また、図書館でも取り組んでいるはずの、例えば高齢化対策や少子化対策など、市の課題とのリンクが、ここからは見えてこない。

(意見) 「レファレンス」という言葉が、一般の人にはわかりにくい。もう少し分かりやすい言葉があった方がよいのではないか。普通の言葉に近づける努力をしてほしい。

④ (仮称) 浦安市こども図書館基本構想(原案)について、事務局より報告を行った。

その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

(意見) 日の出の図書館はとても狭くて、子どもが追いやられている。子どもの利用も多いので、とても良い場所にできると考えている。

(意見) 「ビブリオ・パルク」という名称はかっこいいが名前をみただけで、すぐに図書館と分かる方がいいのではないか。

(回答) ビブリオ・パークは構想段階のイメージで、施設の名称ではない。名称については、今後、検討することになると思われる。

(質問) とても良い原案になったと感じている。人材の育成について、「キャリアの見える化」という意見があるということだが、一般的に力量評価と呼ばれている。民間では最も一般的に、力量評価を用いている。注目してほしいのは、「司書の生きがい」という視点である。浦安の図書館は、司書の創意工夫が多い図書館だと思うが、「生きがい」となっているからこそだと思う。それらを活かすためにも、単に力量だけではなく、その視点を入れてほしいと考える。

(意見) 心配していることは、ヤングアダルトサービスについてである。「子ども図書館」という名称のところに、果たして中高生が行くだろうか。YAコーナーを作るときには、どこの図書館でも設置する場所に苦労している。

(意見) 中高生は、大人の本と子どもの本との連携が重要である。建物を行き来できるようにするなど、設計の工夫が必要。日の出分館を有機的に使えるようにしてほしい。

⑤ 第2次浦安市生涯学習推進計画(骨子案)について、事務局より報告を行った。その際に表明された意見(質問)は次のとおり。

(意見) 施設などのハード面、運営方針などのソフト面、そして人材の確保、この3つの歯車が重要と考えられている。特に職員の確保・育成は、ぜひ入れて、実行性のある計画としていただきたい。

(意見) 図書館もスポーツとの連携にもっと力を入れてもいいのではないかと。

(意見) 図書館の運営方針と、人材の育成や文化は別の項目になっている。それぞれの中に、図書館も関わっていることが出てくるとよいと思う。また、スポーツとの連携事業については、広島市の図書館では野球のコーナーとサッカーのコーナーがあり、優勝するとすぐに特集を組むなど、積極的に連携を行っている。こういった連携を、浦安でも取り入れると良い。

(意見) 郷土博物館のリニューアルとあるが、浦安の郷土博物館は、もっと広く絵画や写真なども扱ってもいいのではないかと。

(回答) 今度の郷土博物館のリニューアルは、戦後から高度経済成長期にかけての浦安の変貌を扱うのが一つのコンセプトである。資料もかなり集まってきたので、展示も拡大できる予定である。

(意見) ディズニーランド関係の資料の収集について、やはり浦安で一番大きなものなので、図書館でしっかりと取り組んでほしいと思う。

(回答) 現在、本庁舎1階で友好のしるし「ゲートウェイ」としての鍵を展示

している。資料の活用等については、調整が難しい面もある。
(回答) 企業としての関連資料の収集は行っているし、今後も取り組む予定である。

以上